

## 商 工 費

商工費の支出済額は、543,123,319円で、対前年度比1,070,916,619円、66.35パーセントの減で、歳出総額に対する構成比は1.01パーセントです。

## 7 款 1 項 2 目 商工振興費

### 商工業振興事業

(商業観光課)

決算事項別明細書 215 ページ

予算現額	19,924,000 円		決算額	19,453,770 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	470,230 円			県 支 出 金	6,178 円	
前 年 度 比 較	決算額			19,076,538 円	地 方 債	
	増減額			377,232 円	そ の 他	
	増減率	1.98%	一 般 財 源	19,447,592 円		

#### <目的>

商工業の活性化と持続的な発展を目的に、関係団体を支援するとともに、各種施策を実施します。

#### <内容>

地域経済の発展と地域全般の福祉の増進を目的に設立されている商工会議所と地域の商店街が実施する事業について補助するとともに、店舗等のリフォーム費用の一部を補助することにより、商工業の振興を図ります。

#### <実績・成果等>

##### 1 狭山商工会議所に対する助成

中小企業者の体質強化を図る商工業振興施策を総合的に推進するため、狭山商工会議所に対し、12,700,000円の補助金を交付しました。これにより集団指導・個別指導・巡回指導・窓口相談・金融あっせん等の経営指導を促進するとともに、一般事業として青年部や女性会の活動を支援しました。

##### 2 店舗・住宅リフォームの補助

市内施工業者を利用し店舗や住宅のリフォームを行った者に対して、(店舗上限300,000円・住宅上限100,000円)を補助しました。

利用件数 92 件 補助金額 6,223,000 円

## 7款 1項 2目 商工振興費

### 企業立地促進事業

(産業振興課)

決算事項別明細書 215 ページ

予算現額	70,805,000 円		決算額	67,364,930 円	
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金	
不用額	3,440,070 円			県支出金	
前年度 比較	決算額	19,089,514 円		地方債	
	増減額	48,275,416 円		その他	
	増減率	252.89%	一般財源	67,364,930 円	

#### <目的>

企業立地を促進し、産業の振興及び雇用の拡大を図り、地域経済の発展と市民生活の向上に寄与します。

#### <内容>

市内への立地を希望する企業に対して、立地に関する手続きの支援や既存企業が抱える課題に関する相談・支援を行います。また、企業立地奨励金等交付要綱に基づき、市内立地した事業所に対する奨励金交付を通して、企業の新規立地や既存施設の拡張を支援します。

#### <実績・成果等>

区 分		該 当 数	金 額
企 業 立 地 奨 励 金		11 件	52,859,100 円
そ の 他 の 助 成 金	雇 用 促 進 助 成 金	30 人	6,000,000
	正 規 従 業 員 雇 用 促 進 助 成 金	7	2,100,000
	障 害 者 雇 用 促 進 助 成 金	0	0
	女 性 雇 用 促 進 助 成 金	23	2,300,000
	社 会 進 出 応 援 助 成 金	0	0
	環 境 保 全 施 設 設 置 助 成 金	1 件	3,000,000
	水 道 利 用 加 入 助 成 金	2	1,063,800
	埋 蔵 文 化 財 発 掘 調 査 助 成 金	0	0
合 計 交 付 額		—	67,322,900

## 7 款 1 項 2 目 商工振興費

### インキュベーションセンター管理事業

(産業振興課)

決算事項別明細書 217 ページ

予算現額	6,791,000 円		決算額	6,627,300 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	163,700 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			6,504,462 円	地 方 債	
	増減額			122,838 円	そ の 他	3,675,700 円
	増減率	1.89%	一 般 財 源	2,951,600 円		

#### <目的>

地域経済の活性化を図るため、狭山市地域新事業創出基盤施設（さやまインキュベーションセンター21）において、新産業の創造や新製品の開発に取り組む起業家等を支援・育成します。

#### <内容>

指定管理者制度を活用し、さやまインキュベーションセンター21 にインキュベーションマネージャーを配置し、入居者の相談に適宜応じるとともに、入居者支援会議を定期的開催し、課題解決に向けた調整・支援を行います。また、退去後のフォローアップも行い、新事業・新商品の創出の促進を図ります。

#### <実績・成果等>

- 1 入居率 部屋数 8 部屋×12 カ月＝延べ 96 部屋  
 年間利用部屋数 延べ 82 部屋  
 利用率 85.4 パーセント

#### 2 事業実績

- (1) 入居者相談・指導回数 10 回  
 (2) 入居審査件数 1 件  
 (3) セミナー・研究発表会・展示会参加件数 2 回  
 (4) 研究開発・試作品開発中 5 者

## 7款 1項 2目 商工振興費

### 中小企業制度融資あっせん事業

(商業観光課)

決算事項別明細書 217 ページ

予算現額	370,198,000 円		決算額	195,605,136 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	174,592,864 円	決算額の 財源内訳		県支出金		
前年度 比 較	決算額			230,809,585 円	地方債	
	増減額			△35,204,449 円	その他	170,744,332 円
	増減率	△15.25%	一般財源	24,860,804 円		

#### <目的>

市内中小事業者の成長と経営安定化を図るため、融資あっせん事業を推進します。

#### <内容>

市内金融機関に対して預託を行い、より低利で借りやすい制度融資の普及・あっせんに努めます。また、利子助成制度や保証料補助制度を活用し、中小事業者の経営や資金繰りの安定化を進めます。中小企業向けの制度融資の種類としては、その目的に応じ、近代化資金・商工業開発資金・小口資金・緊急特別資金・認証等取得資金があります。

#### <実績・成果等>

区 分	貸付件数	金 額
近代化資金融資	0 件	0 円
商工業開発資金融資	1	10,000,000
一般小口融資	41	160,430,000
特別小口融資	2	7,000,000
緊急特別資金融資	3	8,000,000
認証等取得資金融資	0	0
合 計	47	185,430,000

## 7款 1項 2目 商工振興費

### 産業労働センター管理事業

(産業振興課)

決算事項別明細書 217ページ

予算現額	100,555,000円		決算額	100,246,765円	
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金	
不用額	308,235円			県支出金	
前年度 比較	決算額	96,345,236円		地方債	
	増減額	3,901,529円		その他	
	増減率	4.05%	一般財源	100,246,765円	

#### <目的>

狭山市産業労働センターを拠点として、企業間連携等の促進や中小企業等の相談支援を行い、就労支援・勤労者福祉を推進するとともに、産業観光情報の提供等を行うことで、地域経済の活性化と市民福祉の向上を図ります。

#### <内容>

指定管理者制度を活用し、産業労働センター内の多目的スペース・異業種交流スペース・産業・観光情報サテライト・狭山市ビジネスサポートセンター・若者サポートステーションを運営するとともに、施設内に入居する、狭山市ふるさとハローワーク・(一財)狭山市勤労者福祉サービスセンターを活用することで、企業の経営者や従業員、求職者に対する各種サービスの提供、来館者に対する市内産業や観光情報の提供、また、中小企業等が抱える経営課題の解決及び売上力向上に向けた伴走型ビジネスコンサルティングを実施しています。

#### <実績・成果等>

##### 1 施設毎の利用状況

開所日数	利用人数			合計
	産業・観光情報 サテライト	異業種交流 スペース	多目的スペース	
359日	1,572人 (100%)	11,763人 (37.2%)	10,985人 (37.1%)	24,320人 (42.0%)

※ ( ) 内は稼働率

##### 2 指定管理業務

- (1) 総合案内業務
- (2) 貸室管理業務
- (3) 若年者就職相談業務
- (4) 就労支援業務
- (5) 離職者支援総合相談業務
- (6) 内職相談業務
- (7) 経営支援業務
- (8) ビジネスサポートセンター業務

##### 3 指定管理者実施事業

- (1) 産業関係 7事業 2,838人参加  
うちビジネスサポートセンター業務 287事業者 1,606件
- (2) 労働関係 11事業 3,618人参加
- (3) 観光関係 4事業 1,991人参加

## 7 款 1 項 2 目 商工振興費

### 商業支援事業

(商業観光課)

決算事項別明細書 217 ページ

予算現額	10,725,000 円		決算額	8,003,110 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	2,721,890 円	決算額の 財源内訳		県 支 出 金	1,200,000 円	
前 年 度 比 較	決算額			4,137,600 円	地 方 債	
	増減額			3,865,510 円	そ の 他	
	増減率		93.42%	一 般 財 源	6,803,110 円	

#### <目的>

商店街等の施設維持や共同売り出しなどのイベントを支援し、安全で魅力的な商店街を形成することで、集客力を向上させ、商業活動の活性化を図ります。

#### <内容>

各商店会などが自主的に行っている共同施設の修繕・整備や共同売り出しなどのイベント、また、街路灯電気料に関し、その費用の 1/2 以内の額を補助します。

#### <実績・成果等>

- 1 商店街活性化推進事業費補助金  
商店会が自主的に行う販売促進事業に対し、対象経費の 50 パーセント以内を補助しました。  
4 団体 999,000 円
- 2 商店街共同施設管理運営事業補助金
  - (1) 来客用駐車場  
商店街共同施設を適正に維持するため、来客用駐車場の年間地代の 50 パーセントを補助しました。  
2 団体 1,110,000 円
  - (2) 共同施設等修繕  
商店街共同施設を適正に維持するため、街路灯等の修繕費の 50 パーセントを補助しました。  
3 団体 717,000 円 (LED 化)  
1 団体 55,000 円 (駐車場修繕)
- 3 商店街街路灯等電気料補助金  
商店街共同施設の適正管理を支援するため、商店会等が管理する街路灯電気料の 50 パーセントを補助しました。  
18 団体 1,310,000 円
- 4 中枢拠点活性化事業補助金  
中枢拠点や地域拠点における商業の活性化を推進するため、市民団体等が実施する事業に対して、費用の一部を補助しました。  
1 団体 1,290,000 円

## 7款 1項 2目 商工振興費

### 工業支援事業

(産業振興課)

決算事項別明細書 217 ページ

予算現額	900,000 円		決算額	770,351 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	129,649 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			761,645 円	地 方 債	
	増減額			8,706 円	そ の 他	
	増減率	1.14%	一 般 財 源	770,351 円		

#### <目的>

市内中小企業が抱える様々な経営課題を把握し、必要な支援を実施するとともに、中小企業が有する先進技術のアピール、企業間連携や産学官連携の促進、関係機関との広域ネットワークによる支援を行います。

#### <内容>

市内中小企業の研究開発力・市場競争力・特許戦略などの向上を図るため、関係機関と連携し、企業が抱える様々な経営課題を把握し、指導・助言・情報提供などを行います。また、企業間連携や産学官連携の促進を図ります。

#### <実績・成果等>

- 1 首都圏産業活性化協会に中小企業経営支援相談業務委託を行い、主にインキュベーションセンターに入居する事業者等への新製品の研究開発等に係る支援を実施  
相談・指導回数 14 件
- 2 埼玉県西部地域産業ミニ商談会への補助金交付  
補助金 150,000 円  
参加者数 発注企業 14 社 受注企業 17 社  
商談回数 58 商談
- 3 市内製造業への情報提供  
企業支援に関する情報を市内製造業へ向けて情報提供  
対象 市内製造業等約 200 件  
頻度 約 1 カ月に 1 回 (実績数 14 回)



## 7款 1項 2目 商工振興費

### ふるさとモノづくり応援プロジェクト事業（総合戦略事業）

（産業振興課）

決算事項別明細書 219 ページ

予算現額	850,000 円		決算額	803,743 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	46,257 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			1,626,067 円	地 方 債	
	増減額			△822,324 円	そ の 他	
	増減率	△50.57%	一 般 財 源	803,743 円		

#### <目的>

市内モノづくり企業の優れた製品や技術、働く人々の熱意等の紹介を通じて、「本物づくり」の企業集積地としての当市の魅力を広く市内外へ向けて PR し、市民の地元への愛着と誇りを醸成するとともに、若い世代に向けて仕事としての「モノづくり」に対する興味や関心を喚起し、地域の活性化を図ります。

#### <内容>

情報冊子、Web サイトの作成、イベントの実施を通して、市内モノづくり企業の製品・技術を PR し、人材確保及び企業活動を支援していきます。

#### <実績・成果等>

##### 1 モノづくり企業 PR サイト 「本物づくりのまち 狭山」

- (1) 閲覧件数 28,408 件
- (2) 登録企業数 215 社

##### 2 イベント

- (1) モノづくり企業フェア  
※新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止
- (2) モノづくり企業フェス in 狭山工業高校  
※新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止  
代替事業として「市内企業 PR 資料」を作成。狭山工業高校や狭山経済高校をはじめ近隣の工業高校等へ配布し市内企業の PR 事業を実施
- (3) モノづくり企業を対象とした就職面接会
 

ア 日 時	令和3年10月25日（月）
イ 会 場	狭山市市民交流センター コミュニティホール
ウ 参加企業	10 社
エ 参加者	38 人

## 7款 1項 3目 観光費

### 入間川とことん活用事業

(商業観光課)

決算事項別明細書 219 ページ

予算現額	12,864,000 円		決算額	10,906,517 円	
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	
不 用 額	1,957,483 円			県 支 出 金	
前 年 度 比 較	決算額			地 方 債	
	増減額			10,906,517 円	そ の 他
	増減率	皆増	一 般 財 源	10,906,517 円	

#### <目的>

入間川左岸（新富士見橋と昭代橋の間）に位置する「入間川にこにこテラス」において、賑わいの創出及び公園の維持管理を図ります。

#### <内容>

入間川にこにこテラスにおける賑わいの創出と地域のイメージアップに向けて、官民が連携して、ソフト事業を実施します。

また、「狭山市入間川河川敷利用調整協議会」にて、入間川にこにこテラスの利活用に向けた検討を行うとともに、イベント開催などを通じて魅力の発信を行います。

#### <実績・成果等>

##### 1 市内事業者支援事業の実施

入間川にこにこテラスを活用し、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、売上減少等の影響を受けた市内事業者の支援事業を実施しました。

- ・ 出店事業者 市内で事業を営んでいる方（企業・個人事業主・NPO など）
- ・ 実施期間 令和3年10月23日から11月21日の間の土・日
- ・ 出店事業者数 15事業者

##### 2 狭山市入間川河川敷利用調整協議会の開催

狭山市入間川河川敷利用調整協議会を2回開催し、入間川にこにこテラスの利活用について検討を行いました。

## 7款 1項 3目 観光費

### 観光振興事業

(商業観光課)

決算事項別明細書 219 ページ

予算現額	6,022,000 円		決算額	5,776,531 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	245,469 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			3,806,867 円	地 方 債	
	増減額			1,969,664 円	そ の 他	
	増減率	51.74%	一 般 財 源	5,776,531 円		

#### <目的>

当市の魅力向上のため、地域の観光資源を有効に活用し、各種観光事業を推進することにより、もって、市民の郷土愛の醸成を図るとともに交流人口の増加を目指します。

#### <内容>

狭山市観光協会が行う観光振興事業(狭山市駅西口市民広場イルミネーション点灯事業等)に対して、その事業費の一部を補助します。

#### <実績・成果等>

##### 1 狭山市観光協会に対する補助

当市の観光事業を総合的に推進する組織である狭山市観光協会に対し、5,500,000 円の補助金を交付し、活動を支援しました。また、狭山市観光協会と連携し、ホームページ等を通して観光情報の提供と PR を行いました。

##### 2 観光協会実施事業 (一部)

- (1) 狭山市駅西口市民広場イルミネーション点灯事業
- (2) おりぴいダンス事業
- (3) 新狭山商店街等紹介冊子「街と人と」発行事業
- (4) 池原昭治先生画集冊子「残しておきたい狭山の風景」発行事業